

4 具体的な取組

(1) 取組メニュー

大塚の資源や問題点・課題などを踏まえ、未来づくりの目標や方針と関連づけながら、大塚で取り組むメニューを設定するとともに、地区ごとで取り組む主なメニューを整理すると、次頁のようになる。

このうち、大塚で取り組むメニュー（取組の全体メニュー）は、次のように区分することができる。

なお、ここであげたメニューは、取り組むことが必要なこと・期待されること、自分たちで取り組んでみたいこと・行政に実施して欲しいこと、ソフトまたはハードな取組、すぐできること・時間がかかることなど、多様な性格を持っており、内容や具体化（優先順位）を検討する段階で、掘り下げることが求められます。

<取組の全体メニューの主要項目（区分）>

- 人づくり
- 道路交通、歩行者ネットワーク（生活環境などに関連）
- 土地の有効活用
- 防災・防犯
- 生活環境
- 自然、環境保全・美化、景観形成
- 農・食を生かしたまちづくり
- 歴史文化の保全・活用
- 福祉・健康・安全
- 連携・交流
- 施設の活用 など

課題や資源など

<生かしたい大塚上の資源>

- 田園(都心から15分のところにある田園と自然)
- 里山の自然
- 竹・竹林(問題点となることも)
- 西風新都の中央、十字路
- 地区拠点(ひろしま西風新都都市づくり推進プラン)
- 中央軸(西風新都中央線)と地域軸(中筋沼田線)の結節点
- 2つの大学が隣接
- 広島広域公園が隣接
- 数多くの神社の存在 など

<何とかしたい大塚上の問題点・留意点>

- 狭い生活道路
- 通過交通の流入
- 人口の減少と少子高齢化
- 公園・広場の不足
- 一部、未整備の河川
- 農地の維持管理の負担・不安、後継者不足
- 鳥獣被害
- 生き物が少なくなった川
- 駅周辺などの土地活用 など

<担いたい大塚上の役割>

- 都心直結の田園と緑の環境(農業体験、自然体験、リフレッシュ、田園居住の場)
- 西風新都の玄関口
- 西風新都の中央十字路としての立地性を生かした生活・交流拠点 など

<考えたい時代の流れ>

- 少子高齢化
- 安全・安心の再認識と重視
- 地球温暖化(環境にやさしいまちづくり)
- 成熟化社会(多様なニーズ)
- 情報化社会 など

地区別の主な取組メニュー

寺谷

- 寺谷川の改修
- 生活道路の整備、交通安全対策
- 農地の保全・活用、農業・ものづくり
 - ・農地の保全、遊休農地の活用、大豆などの栽培や加工品づくり
 - ・市民菜園・農園、体験農園・地産地消の推進、朝市などの開催
 - ・竹などを生かした特産品づくり(例:竹の器と豆腐の組合せ など)
- 農家レストランやグリーン・ツーリズムの展開・有害鳥獣対策
- 西風新都中央線とその沿道の環境美化、芸術作品の設置、景観形成(西ヶ城と連携)
- 西風新都中央線沿いの土地の有効活用
- 「道の駅」のような場の確保・整備(上記の「西風新都中央線」と関連)
- 広島修道大学と西風新都中央線の連絡道の整備(幸神と連携)
- 竹林を生かした取組(かぐや姫プロジェクトなど)
- 大塚分校跡地など歴史的資源の保存・活用

中東

- 生活道路の整備、交通安全対策
- 道路沿いの(道路にはみ出す)雑草等の地域での除伐など
- 農地の保全・活用、農業・ものづくり(内容は「寺谷」参照)
- 竹林を生かした取組(かぐや姫プロジェクト、ものづくり など)
- 音崎神社など歴史的資源の保存・活用

幸神

- 生活道路の整備
- 広島修道大学～幸神～寺谷・西風新都中央線(～市立大学)のルートづくり
- 農地の保全・活用、農業・ものづくり(内容は「寺谷」参照)
- 竹林を生かした取組(ものづくり など)
- 幸神社など歴史的資源の保存・活用

西ヶ城

- アストラムライン大塚駅周辺の土地の有効活用
- パーク・アンド・ライド(駐車場)への対応
- 市街化区域への編入の検討
- 西風新都中央線・中筋沼田線とその沿道の環境美化、景観形成(寺谷、中講と連携)
- 生活道路の整備、交通安全対策
- 農地の保全・活用、農業・ものづくり
- ホテルがすむ環境の保全・活用
- 岸城跡など歴史的資源の保存・活用

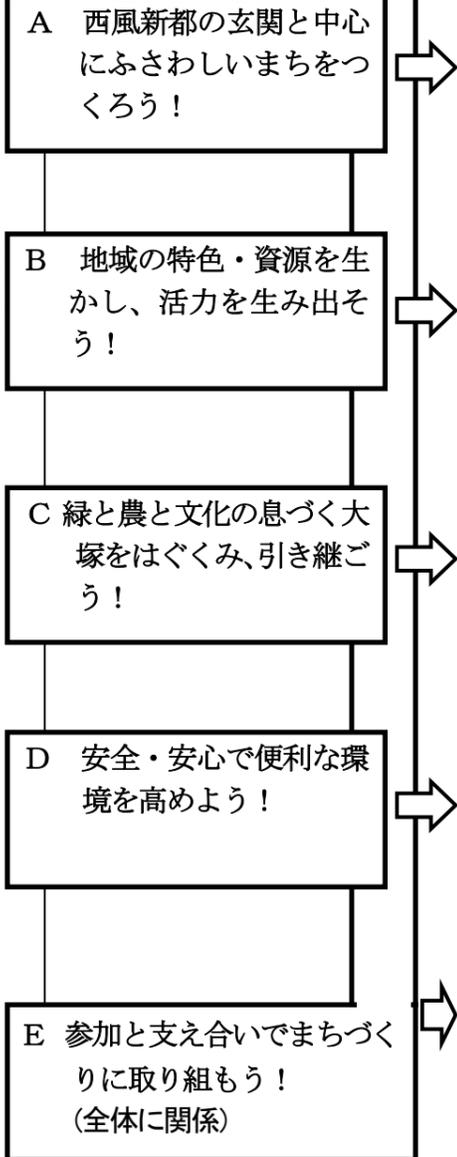
中講

- アストラムライン大塚駅周辺の土地の有効活用
- 市街化区域への編入の検討
- 中筋沼田線とその沿道の環境美化、景観形成(西ヶ城と連携)
- 生活道路の整備、交通安全対策
- 広域公園やAシティなどとの連絡・連携の強化
- 農地の保全・活用、農業・ものづくり(内容は「寺谷」参照)
- 権之神社など歴史的資源の保存・活用

取組の全体(主要)メニュー

- <人づくり>
 - 地域リーダーの育成(リーダー研修への参加支援など)
 - 活動への参加促進と担い手づくり ○先進地視察
- <道路交通、歩行者ネットワーク>
 - 主要道路の整備とネットワーク化
 - 通過交通対策 ●交通安全対策
 - コミュニティバスなど生活交通の強化
 - 周遊ルートづくり(みちの整備、案内表示板の整備、地域資源の活用) ●パーク・アンド・ライドへの対応
- <土地の有効活用>
 - 都市的土地利用の検討
 - 市街化区域への編入(要望)
- <防災・防犯・生活環境>
 - 自主防災組織の充実 ●防犯灯・街灯の設置
 - 下水道の整備 ●公園・広場の整備
- <自然、環境保全・美化、景観形成>
 - 里山や森林の保全・活用 ●雑草等の除去
 - 竹林を生かした取組(アート、ものづくり)
 - 幹線道路と沿道の景観づくり:芸術作品の設置など
 - 美しい川づくり、生き物のすむ川づくり・ホテルの里づくり
 - 循環型社会の形成(例:ゴミの堆肥化→農地・家庭菜園などでの活用…)
- ゴミの投げ捨て・不法投棄の防止
- <農・食を生かしたまちづくり>
 - 農地の保全・活用 ●鳥獣被害対策
 - 安全・安心な農作物づくり
 - 市民菜園・市民農園の開設
 - 菜園付き住宅(優良田園住宅)の整備
 - 農家レストラン、朝市などの展開
- <歴史文化の保全・活用>
 - 歴史的資源の保存・活用 ●案内表示板設置
 - 大塚の地域誌などの作成
 - 伝統行事の活性化 ●探訪イベントの開催
- <福祉・健康・安全>
 - 健康づくり活動 ●高齢者等の見守り
 - 生きがいづくり活動→農業やものづくりなどとの関係も検討
- <連携・交流・施設の活用など>
 - 2つの大学と地域の連携
 - 広域公園の活用 ●日曜日・朝市などの開催
 - 「道の駅」のような場の確保・整備
 - 空き家等の活用 ●交流・元気づくりの取組

未来づくりの方針目標の実現に向けた取組の柱



取組

プロジェクトの設定・推進のチームづくり

未来づくりの目標
(大塚上の将来像)

都心直結の自然
と西風新都の十字路

緑とアートと
学園のまち

大塚上

～緑豊かで庭園のような
丘のまち～

<目標年次>
2020年
(平成32年)

土地利用の
考え方(方針)
+
土地利用構想図